

令和7年度薬物乱用対策推進地方本部全国会議

海上保安庁における薬物水際対策の取組み状況について

海上保安庁

警備救難部国際刑事課

令和8年2月25日



令和7年は、海上経由の密輸としては統計史上最大の押収量となった大麻密輸入事件、パラサイト型※によるコカイン密輸入事件など複数の密輸事犯を摘発し、**2年連続で1トンを超える薬物を押収**しました。

※ パラサイト型密輸：出発港から到着港の間で、船舶の船底部海水取入口等の水面下に薬物を隠匿し、これを回収する手法。我が国においてはこれまで2例が確認されている。

◎ 過去5年間の薬物摘発実績

		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
摘発件数		11	6	11	12	12
押 収 量	覚醒剤	626.49kg	11.96kg	749.34kg	1,044.32kg	4.62kg (1件鑑定中)
	大 麻	164.17g	300.56kg	62.53g	8.70g	1046.88kg
	コカイン	2.00kg	0	847.20g	225.19kg	19.96kg
	ケタミン	0	0	0	0	7.48g (1件鑑定中)
	あへん	0	0	0	0	0
	指定薬物	0	0	0.73g	0	0

(速報値：令和7年12月31日現在)

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

海上薬物密輸は密輸入の大口化、手法の巧妙化が進んでおり、海外犯罪組織の関与も疑われるところ、引き続き、水際阻止の取組を強力に推進しています。

近年の主な薬物密輸事犯の推移

従前



船員による持ち込み（小口密輸）



日本人（暴力団等）を主体とした犯行

薬物密輸入手法の大口化・巧妙化のほか、
外国人主体の犯行も確認

近年



○洋上落とし込みによるコカイン密輸入（R6.5）

- コンテナ船からの洋上落とし込みにより覚醒剤（約178kg）を密輸
- 逮捕8名、うち外国人5名



○メキシコ来コンテナ貨物隠匿覚醒剤密輸入（R6.5）

- コンテナ貨物底部に覚醒剤（約531.8kg）を隠匿
- 逮捕11名、うち外国人4名



○メキシコ来海上貨物隠匿覚醒剤密輸入（R6.10）

- 海上貨物内部に覚醒剤（約156.6kg）を隠匿
- 外国人3名を逮捕



○ベトナム来海上貨物隠匿大量大麻密輸入（R7.7）

- コンテナ貨物内部に大麻（約1トン）を隠匿
- 外国人3名を逮捕
（詳細は次頁参照）



○外国貨物船バラサイト型コカイン密輸入（R7.11）

- 船底内にコカイン（約20kg）を隠匿
- 逮捕4名、うち外国人3名
（詳細は次頁参照）

水際対策の徹底

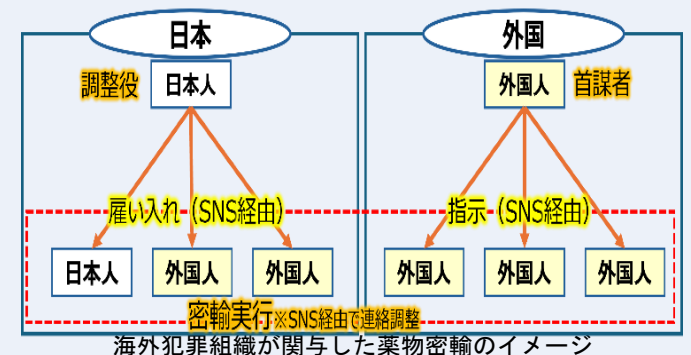
➤ 国内外関係機関との連携強化

- ・ 国内関係機関との合同捜査を通じた実務的な連携の強化、取締りの推進
- ・ 外国関係機関との情報交換や研修を通じた国際連携の強化



➤ 巧妙な犯罪手口への対応強化

- ・ 情報収集、犯罪手口の分析
- ・ 監視能力、体制の強化
- ・ サイバー空間を利用した薬物密輸犯罪への対応強化



海外犯罪組織が関与した薬物密輸のイメージ